

# やまがた



63号

2019年2月1日発行

- 第4回定例会 ..... P 2 ~ 3
- 常任委員会報告・所管事務調査報告 ..... P 3 ~ 7
- 一般質問 ..... P 7 ~ 10
- 議会報告並びに意見交換会 ..... P 11 ~ 12
- 特別委員会報告 ..... P 13 ~ 14
- 議会行政視察研修報告 ..... P 14 ~ 15
- 議会活動日誌、第1回(3月)定例会予定 ... P 16



▲ 開通目指し進む工事現場【(仮称)高富インターチェンジ】



# 平成30年 第4回定例会

12月3日~12月20日  
(18日間)

## こんな議案が 決まりました

今回の議案 17件

【条例案件】	5件
【予算案件】	5件
【その他】	2件
【意見書】	1件
【報告案件】	4件

### 【条例案件】

議第78号	山県市総合計画審議会条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第79号	山県市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第80号	山県市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第81号	山県市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第82号	山県市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

### 【予算案件】

議第83号	平成30年度山県市一般会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
議第84号	平成30年度山県市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第85号	平成30年度山県市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第86号	平成30年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第87号	平成30年度山県市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)

### 【その他案件】

議第88号	損害賠償額を定め和解することについて	可決(全会一致)
議第89号	指定管理者の指定について(山県市体育施設)	可決(賛成多数)

### 【意見書】

発議第3号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書について	可決(全会一致)
-------	----------------------------	----------

### 【報告案件】

報第10号	専決処分の報告について(フェンス破損事故)	—
報第11号	専決処分の報告について(タイヤ破損事故)	—
報第12号	専決処分の報告について(草刈機による自動車破損事故)	—
報第13号	専決処分の報告について(強風による自動車破損事故)	—

賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	村瀬誠三	福井一徳	山崎通	上野欣也	吉田茂広	石神真	武藤孝成	藤根圓六
議第89号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	—	○	○

※○は賛成、●は反対。なお、議長は採決には加わらない。

採決にあたっての討論

議第89号

指定管理者の指定について(山県市体育施設)

賛成討論

平成29年度指定管理業務モニタリング実績評価シートによる管理実績の結果、利用料金合計額が過去最高となっている。市の振興や活性化の寄与、地元住民の雇用促進に期待し賛成。

反対討論

議案提案の添付資料が不十分であった。非公募とした理由を市民に公表すべき。指定管理料4300万円余の削減に努力した値下げ提案を、以上3点の理由から反対。

可決された意見書

第4回定例会では、厚生文教委員会から提出された1件の意見書を内閣総理大臣ほか政府関係機関などへ提出。

「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。



付託された議案を審議

総務産業建設委員会

主な質疑

条例案件

【議第80号】 山県市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

◎総合計画審議会及び行政改革推進委員会の委員の報酬が、学識のある委員の報酬は月額2万円、その他の委員の報酬は月額5500円となっているが、同じ委員に差がある理由は。

▲総合計画は市の根幹となる重要な政策である。学術者、弁護士、大学の教授からは専門的な知見による意見が得られる。他市の例や本市の委員会など、附属機関との調整をとっている。

◎学識のある委員の参加を求める理由は。  
▲地域に精通している市民が主体であるが、全国の動向や客観的な目線で調整し、市(委員会)をまとめていく役割を期待している。



予算案件

【議第83号】 平成30年度 山県市一般会計補正予算(第4号)

◎中山間地域等担い手育成支援事業補助金145万7000円とあるが、この農事組合法人は、以前も同じ補助事業で農業用機械を導入したが、法人設立以降の農業機械の導入状況は。

▲色彩選別機、コンプレッサ、自動計量選別機を導入した。

◎今後も必要な状況なのか。▲導入の要望はない。

◎農作物の生産状況は。  
▲9ヘクタール集積し、機械の導入により主要米の生産を拡大する予定である。



Q 財産管理費のふるさと応援寄附金お礼1237万円、返礼品人気ベスト3は。

A 平成30年11月末時点では、かも鍋が非常に人気であり315件。2つ目は飛騨牛の切り落とし550gが75件、3つ目がポディーソープ55件である。



▲かも鍋セット



▲飛騨牛切り落とし



▲ポディーソープ

## その他案件

### 【議第88号】

損害賠償額を定め和解することについて

Q 損害賠償金が103万円と多額だが、相手方乗用車の破損状況は。

A 草刈り作業中、自動車の側面に小石が飛び、側面全面に傷がついた。また、サイドウィンドウのガラスも割れ多額となった。賠償金は保険対応とした。

Q 寄附金に対する返礼品の割合は。

A 総務省の通知により返礼品は寄附額の3割以下となっており、本市についても3割に近い金額としている。

Q 今後の事故防止策は。

A リスク管理を徹底するよう職員に呼びかけ、幹部職員の会議においても各幹部に周知徹底した。

Q 市が加入している損害賠償保険の保険料積算は。

A 人口割で加入しており、公的な仕事に対応できる。

採決の結果、付託された議第78号から議第83号及び議第88号の議案は全会一致で、原案どおり可決した。

## 厚生文教委員会

### 主な質疑

### 条例案件

【議第83号】 平成30年度 山口市一般会計補正予算(第4号)

Q 就学援助の申請及び市民への周知方法は。

A 年度当初に各学校から全家庭に申請書を配布している。4月に申請書が提出され、経済的な状況を鑑みながら審査し6月に決定する。年度途中に転入された場合は、転入時に申請書を配布している。

Q 小学校教育振興費の就学援助受給対象者が増加傾向となっている理由は。

A 年度途中からの申請があり、当初見込みより対象者が増えた。

Q 生活保護費における、医療扶助費の支給対象者となった件数は。

A 平成30年9月末現在では、入院69件、入院外564件、歯科60件、調剤392件、療養費63件、訪問介護6件である。

生活扶助費	日常生活に必要な費用(食費・被服費・光熱費等)
住宅扶助費	アパート等の家賃
教育扶助費	義務教育を受けるために必要な学用品費
介護扶助費	介護サービスの費用
医療扶助費	医療サービスの費用
出産扶助費	出産費用
葬祭扶助費	葬祭費用
生業扶助費	就労に必要な技能の修得等にかかる費用

Q 生活保護費における、平成30年度各種扶助費における当初予算の内訳は。

A 生活扶助費4304万3000円、住宅扶助費1556万2000円、教育扶助費31万3000円、介護扶助費516万円、医療扶助費7634万2000円、出産扶助費50万円、葬祭扶助費72万円、生業扶助費83万4000円ほどとなっている。

Q 今後の推移は。

A 生活保護世帯が平成30年11月末現在で10世帯増加しており、世帯数の増加に伴い、医療費が増加していくものとみている。また、生活保護世帯の高齢化に伴う医療費の増加も見込んでいる。

Q 生活保護費における、市の負担分(1/4)への考え方は。

A 生活保護費全額を国が負担することが理想である。扶助費だけではなく、事務費の助成も検討している。ただきたいと考えている。

## その他案件

【議第89号】 指定管理者の指定について (山口市体育施設)

Q 山口市体育施設の指定管理にあたり、NPO法人「たかのみスポーツクラブ」を候補者として選定した理由は。

A 利用者を第一に考え、安全管理、施設の安全管理の責務を十分に果たし、利用者の満足度アンケート調査でも評価が高く、これまでの10年の実績を考慮した結果である。利用者も増加し、平成29年度は利用料が過去最高となった実績もあり選定した。

Q 体育施設の利用状況は。

A 平成29年度 市内全施設の利用実績の平均は市内67・7%、市外32・3%である。



▲山口市総合体育館

討論は、議第89号について反対討論があり、採決の結果、付託された議第89号は、賛成多数で、議第83号から議第87号は、全会一致で、原案のとおり可決した。  
意見書については、「保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と公定価格の抜本的な改善を求める意見書」は不採択、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」は採択した。



▲トレーニングルーム(山県市総合体育館)

Q 体育施設の指定管理業務を進めるにあたり平成31年度からの課題は。  
A 周辺のスポーツトレーニングジムの開設や、北部地域の施設の老朽化、利用頻度が少なくなっていることが課題であり、管理者とともに検討していきたい。

# 所管事務調査報告

総務産業建設委員会(12月12日) (文責 郷 明夫)

## 東海環状自動車道インターチェンジ 工事現場



工事現場が広大なことから、建設中の橋梁に登り、工事現場全体を視察した。国土交通省岐阜国道事務所の専門官、現場所長より工事の最新情報がInstagramにより発信されていると説明された。

橋梁上部工では工期短縮、人手不足の解消のため、工場で製作した合成床板を採用し、鉄筋・型枠の組み立て作業を省力化していることが説明された。



## 観光コンテンツ創出事業(インディアンビレッジ:大桑)

インディアンビレッジ(民間運営)では「戦国風BBQと竹細工と木工の体験」ができ、竹でコップ、お皿などを作り、竹筒ご飯のバーベキューが楽しめる。

市では恵まれた環境を活かした体験型観光事業をインターネット上のサイト「asoview!(アソビュー)」を活用し、情報発信している。五感で体験することで滞在時間の延伸を図り、交流人口や、観光収入、定住人口の増加を目指していく。



## 2022年4月から始まる光ファイバー化(山縣市有線テレビ局)



山口市の有線テレビは、開局より10年以上が経過し、老朽化も進展していることから今後、多額の設備更新費や維持管理費が見込まれる。そこで2022年3月を目途に事業を終了し、シーシーエヌ(株)に事業を譲渡する。

今回視察した鳥羽川沿いの高富サブセンターは、ほぼ完成しており、美山、伊自良にも非常用発電機の付いたサブセンターが1ヵ所ずつ設置される。

## 水栓バルブ発祥の地・山県プロモーション事業

この事業は国の地方創生推進交付金を活用し、市の基幹産業である水栓バルブ関連産業の生産性と将来性を向上させ、魅力的な仕事が人材を呼び込めるよう、水栓バルブ関連産業のプロモーション動画を作成する。

現在の「山県さくら」を3Dモデル化する紹介動画など4動画の作成と動画サイトの登録管理を業務委託し、YouTube(インターネット上の動画共有サービス)を利用し情報発信していく。



## 厚生文教委員会(12月13日)

(文責 加藤 裕章)

### ICTを活用した授業(桜尾小学校)



大型テレビ、電子黒板、デジタル教科書、タブレットなどのICT機器を活用することにより、児童の情報活用能力が育成され、教師の職務時間短縮が図られている。

電子黒板を活用した授業では、プレゼン能力が身につくような授業内容であることを実感した。

また、全小中学校の学校図書データベース化し、ネットワーク検索ができるようになった。地域住民への貸し出しも始め、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。



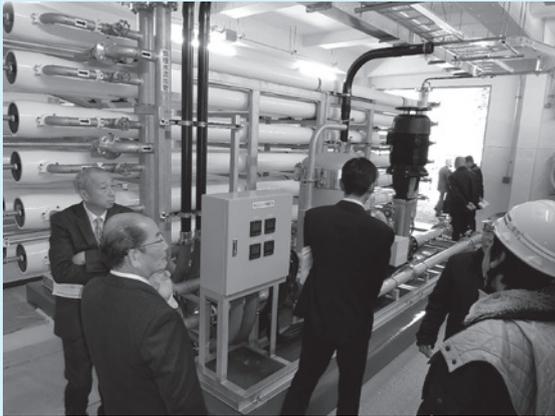
## 硬度処理施設工事(円原浄水場)

円原水源はカルシウムが多く、原水硬度が約120mg/Lと高いため、硬度成分を除去し硬度50～60mg/Lを目標としている。

硬度除去の方法は、逆浸透膜法を用い除去後の水と原水をブレンドすることで、おいしい水を供給することが可能となる。

将来的には西武芸や北武芸にも配水したいとのことだった。メンテナンスは、年1回洗浄することにより、10年以上のサイクルで使用可能となる。

安全でおいしい水を供給し、住民の安全安心な暮らしに寄与することを期待する。



## 災害復旧工事現場(梅原公民館)



台風21号により損壊した富岡・梅原・桜尾・北山公民館の屋根修繕工事に着手。

梅原公民館ホールの屋根は東側が全面剥がれ、ブルーシートで応急処置がしてあった。

台風の爪痕がいたるところで見られたが、あらためて被害の大きさを実感した。

災害時の被害を最小限に抑えるために行政ができる対策はしっかりと進めていきたい。



操 知子 議員

### Q 豚コレラ発生に係る市の対策は

### A 関係機関と共に感染拡大を防ぐ

**Q** 豚コレラ発生において、市と県の連携は。

**A** 対策本部を立ち上げ、養豚場では万が一の発生に備え、情報共有し、協力体制を整えている。

**Q** 豚コレラ感染の広まりは野生イノシシが原因だと見られているが、繁殖期は行動範囲が広く、捕獲が難しい。市としての対策と見解は。

**A** 野生イノシシの侵入を防ぐため、県から養豚場へ電気柵が貸与されている。さらに強固なワイヤーメッシュ柵の設置を行う予定であり、経費の一部を県と市から補助する。

**Q** 有害鳥獣の生息における実数調査の現状は。

**A** 生息実数調査は行っていないが、捕獲を委託している猟友会は動物の生息を熟知しており、的確に罠を仕掛け駆除している。

**Q** 温暖化の影響により、生息系が変化している。鳥獣保護区の見直しの時期になるかと考えるが市の見解は。

**A** 鳥獣保護区の見直しは10年毎に県が行うが、更新時期には市や関係機関と協議し必要に応じて見直しが行われる。

## 7人の議員が登壇し、市政を問う

## 一般質問

平成30年  
第4回定例会



## Q 国道256号(仮称)高富北バイパスの整備計画は



### A 整備計画推進と協力体制の確立を

郷 明夫 議員

Q インター北側について平成27年の道路交通量が1万6500台と増加しつつある。  
東海環状自動車道の完成に伴う交通量の増加も見込まれるが、都市計画街路「岐阜駅高富線」の高富北バイパスが従来の都市計画決定である道路全幅25m4車線道路を、暫定でなく最終完成形の2車線道路へと都市計画変更する理由は。

A 都市計画決定は4車線であるが、都市計画決定当時比べ、近年の人口や周辺地域の状況が変化していることを踏まえ、バイパスの将来交通量(西暦2030年)を推計した結果、2車線で十分な将来交通量となった。  
また、周辺の土地利用状況を考慮し、2車線の方が道路利用が容易になり利便性が高まることから、2車線に変更し、早期に道路を整備する。

Q 県から示された道路参考図に対して

・西深瀬地区で交差する市道との接続方法  
・農業用排水路の処理対策(開水路が原則)  
・計画バイパス全線沿いの排水対策(鳥羽川と椎倉川との合流部は事実上の遊水池であり、新たな浸水区域拡大の恐れや落堀川断面の拡大の必要、椎倉川左岸堤防道路の確保)など地元要望への対応は。

A 地元の要望や意見を踏まえ、現在、県土木事務所に要望を伝えている。落堀川についても、河川計画を作成し、今年度より下流から工事を行っている。



▲国道256号(仮称)高富北バイパス

一般質問

## Q 若者の移住・定住支援と女性の活躍支援



寺町 祥江 議員

### A 実態踏まえた適切な施策の推進を

## Q 平成31年度予算編成について

### A 財政厳しくても時期を逸しない

Q それぞれの施策の内容と成果は。

A 北部地域対象の田舎暮らし空き家活用支援、市内全域対象の3世代など同・近居の支援により一定の成果は出ている。

女性の活躍支援は、復職の意向がある女性を後押しし、市内企業の良好な労働環境確保と発信を旨とした市独自制度も検討中である。

Q 移住・定住の促進、地域づくりの継続の観点からも保育園・小学校・中学校の統廃合については、慎重な検討が必要ではないか。

A 保育園では保育環境健全化と地域実情への配慮をする。小中学校でも児童生徒や地域動向を見極め、良質な教育環境理念のもとで児童生徒・保護者・地域・学校が共有できることを大切に、慎重に検討していく。

Q 課題の多い平成31年度。現段階での予算要求の現状、留意点は。

A 本市最大収入の普通交付税が合併加算のない算定、実質単年度収支が4年以上の連続赤字となり、一般会計財源不足は18億円超の大変厳しい財政状況にある。こうした中、資産額1000億円を超える公共施設の最適化を旨とした公共施設等総合管理計画の具現化、広域行政のメリットを活かすことに留意していく。

Q 市長査定に当たり、政策評価を踏まえた考えは。

A 3歳以上児保育料の無料化、市内全小中学校普通教室へのエアコン設置などの子育て支援策により、30歳代の子育て世代の転入が増加した。平成31年度のインターチェンジ開通に向け、時期を逸することのない予算編成に努め、法人を含む市民協働の機運づくりにも配慮する。

## Q 教員の働き方改革の取り組みは

A 教員を支援する専門職員の配置を



加藤 義信 議員

## Q フレイル予防対策の取り組み状況は

A フレイル予防講座を開催

Q 小中学校教員の長時間勤務が常態化している。教員が本質的に担う業務に専念できる環境を確保するための対策として勤務時間の改善を図る取り組み内容は。

A 教員の事務支援や分掌支援による負担軽減の取り組みとして、成績処理など校務支援システムの活用、スクールサポートスタッフの設置、部活動外部指導員の活用を進めている。

Q 今年度実施したスクールサポートスタッフの導入は継続する必要があると思うが、その考えは。

A 今後の国や県の動向を注視する。また、本市として継続できるよう検討する。

Q 負担軽減に向けた今後の取り組みは。

A 多様な支援が必要な児童生徒や家庭へ効果的に対応できるスクールソーシャルワーカーなどの配置を検討する。

Q 健常と要介護状態との中間的段階として呼ばれる虚弱を意味する「フレイル」の認知状況は。

A 昨年度からフレイル予防事業を行っているが、フレイルの認知度は低い。今後もフレイル予防事業を推進し、フレイルの認知度向上に努めていく。

Q フレイル予防ボランティアの確保と、サポーターの養成の取り組みは。

A 各種団体の協力を頂き、フレイル予防講座を開催している。この講座を介護予防サポーターの活躍の場とし、今後も新規サポーターの養成を行っていく。

Q 介護ボランティア活動などの参加も「健康ポイント事業」の対象として取り組んでどうか。

A 平成31年度から、フレイル講座への参加や様々なボランティア活動も健康ポイントの対象としていく。

## Q 農林業の担い手の確保に向けての取り組みは

A ブランド拡充と新たな取り組み支援を



加藤 裕章 議員

## Q 地域防災力を強化していくには

A 各種施策により防災意識向上を図る

Q 農林業の担い手確保に向け、儲かるブランドづくりや市場開拓の取り組み状況は。

A にくのブランド化、食品会社とのコラボによる栗や桑の木豆の市場開拓に取り組んできた。

Q 今後の方針は。

A 豚肉加工食品の商品化を検討し、栗などは、市場開拓の前に作り手の確保を優先に考える。生産者からのニーズにこたえられるよう、関係機関と共に新たなブランドの確立を図る。

Q 複合経営できる人材確保は。

A 異業種に関心を持つことで複合的な経営能力を持つ人材が育つことを期待し、新たな分野に取り組む人材や、異業種との連携を図る取り組みを支援していく。

Q スマート農業の取り組みは。

A 情報収集を行いサポートしていきたい。

Q 防災リーダーを育成する研修の開催は。

A 市民が参加しやすい短期間の防災リーダー養成講座の開催を検討する。

Q 防災士資格取得者の活動の環境づくりは。

A 防災士の意見聴取の実施方法、市民の防災意識向上などに協力いただける防災士の連絡網の構築を検討する。

Q 自主防災組織で防災訓練実施に向けての働きかけは。

A 防災士のスキルアップに繋がる最新の防災情報に関する講習会や実際の被災地支援経験者による講演会の開催などを検討する。

Q 地域ぐるみで防災教育をする考えは。

A 自分達が住んでいる地区の特性や危険箇所を把握できる自主防災組織による防災訓練の必要性を理解してもらえよう啓発に努めていく。

**Q** ランドセルやカバンの過重負担は軽減されるのか



上野 欣也 議員

**A** 改善状況を把握し、適切な配慮を

**Q** 小学生のランドセルや中学生のカバンが大変重く過重な負担になり問題になっている。  
背骨や腰に付加をかけた正常な成長を妨げていると医師も述べている。  
他市では、家に持ち帰る資料や道具を最少にし、学校に置いていく「置き勉」を始めたというニュースもある。  
過重負担を減らす取り組みはされているか。

**A** 平成30年9月に教育委員会から市内小中学校に、従来の取り組みを見直し、改善を促す文書を送付した。  
内容は、授業で用いる教科書や教材、学用品や体育用品などの過重な負担により、身体の健全な発達に影響を与えないよう、重さや量を軽減する対応の具体例を示したものである。

**Q** 学校保管の資料や道具類はどのような状況か。

**A** 持ち帰りをしなくてもよい資料や道具類を指定し、保管を認めている。置き場所は個人のロッカーや共用の棚、特別教室の棚などにルールを決め、使い勝手も考慮し保管をしている。

**Q** 指導の方向として軽いランドセルやカバンへの変更も必要ではないか。

**A** 児童生徒の健康や安全を第一に考え、携行品に配慮するとともに、保護者の声や児童生徒の健康や安全面の課題など、通学カバンについての実態を主体的に見つめ、PTAなどの関係者と連携し検討していく。



**Q** 公共交通実証実験の結果は

**A** 当初予定より多くの協力が得られた

**Q** 廃校活用したプロジェクトを立ち上げては

**A** バルブ業界から意見徴収を

**Q** 非核平和都市宣言の事業計画は

**A** 様々な平和関連事業を検討中

**Q** 美山全域のデマンド型ワゴン、旧高富地域の巡回路線、岐阜大学病院へのマイクロボス直通便による公共交通実証実験の特徴と利用実績、今後の進め方は。

**A** 利用者は、美山地域デマンド型ワゴン延べ640人、旧高富地域の巡回路線延べ730人、岐阜大学病院線延べ772人。  
高齢女性の利用が多く、岐阜大学病院線では学生利用もあった。

今後、多くの市民や、交通事業者との対話を重ね、必要予算・実施主体・運行方式・運行車両・既存路線などの調整を検討する。  
新バスターミナル供用開始時に、多くの市民が利用できる路線再編を目指していく。

**Q** 水栓バルブの外注先の廃業対応策は。

**A** 本市は、地場産業である水栓バルブ製造業が抱える労働力不足や成長産業への新規参入などの課

題を解決し、生産性の向上を図るため地方創生推進交付金を活用し支援を行っている。

**Q** 美山地域の人々の仕事づくりとして、廃校を利用した「下請け工場」創業支援プロジェクトを立ち上げてはどうか。

**A** 過疎地域の雇用創出にも繋がることから、水栓バルブ業界の意見を聞き、ニーズと実現性について検討を行う。

**Q** 非核平和都市宣言に相応しい平成31年度の平和事業計画の内容は。

**A** 当初予算の編成中であるが、「非核平和都市宣言」に関する書道や絵画の作品展や、「日本非核宣言自治体協議会」の事業を活用した、平和に関する講演会や朗読劇、原爆に関するポスター展など、様々な平和関連事業について、検討している。



# 第5回 議会報告並びに意見交換会を開催

参加者 40人(10月13日)

市民から出された質疑及び議員応答の概要を報告します。

## 人口減少対策

**Q** 岐阜県の人口が2000万人を切ったという報道があった。

**A** 山県市も人口が減少し、合計特殊出生率は県内最低だと聞いている。人口減少対策として保育園の無料化はどんな状況か。

**A** 全体的に人口が減少している中、保育園の無料化により、30代の人口は若干増えている。

**行政** 平成29年度の0歳から4歳児の転入・転出は68人の転入増

**Q** 婚活事業はどのような状況か。

**A** 婚活事業を行っているが、昨年は成立が少なかつたと聞いている。

**行政** 平成29年度 1組の成婚、8組のカップルが誕生

**Q** 移住・定住はどのような状況か。

**A** 空き家対策を美山支所と総合ボランティアセンターで行っており、30件ほど移住された。

乾地区は、約2年間で、10件ほどあり、2歳と4歳の子どもを持つ家族も

移住されている。また、小学生が少ない地域にも入ってこられている。

**行政** 開設後、空き家成約数37軒、移住者数48人

## 空き家対策

**Q** 本町通りの空き家は崩れそうで危険だと思う。観光でこられる人に対しても印象が悪い。何とかならないか。

**A** 議会としても理解している。9月議会の一般質問でも取り上げている。

空き家対策特別措置法が制定され、危険度が高い空き家に対しては、行政から地権者に対し、対応を求めている。

## 公共下水への接続状況

**Q** 公共下水への接続がなかなか進んでいないが、どのような状況か。

**A** 公共下水の加入率が高い仙台へ視察に行った際に、高齢世帯は家の存続などの問題があり加入が難しいと聞いたが、住民の理解や協力、職員が努力があったとのことだった。本市はエリアごとに行う公共下水工事はほぼ終了

しており、今後は接続へのご理解をお願いしたい。  
**行政** 平成30年11月現在の公共下水接続率は41.2%

## 関・本巢線の歩道整備

**Q** 自治会で、関・本巢線の歩道整備を要望しているが、進んでいない。

**A** 沿線4市の同盟会があり、県へ陳情している。県としても予算配分や用地買収の問題もあるが、順次進めている。本市としても引き続き要望していく。

## 地籍調査

**Q** 地籍調査が進んでいない。災害が起きてからでは遅いので、行政に働きかけをもらいたい。

**A** 本市としては平成15年から、美山地区より順次行っている。

高富の一部でも行っているが、計画的に早く進めるよう強く要望している。常任委員会においても取り組んでおり、しっかり働きかけをしていく。  
**行政** 現在の地籍調査の進捗状況は、対象面積の0・73%

## 議会報告会のあり方

**Q** 議会報告会は今回で5回目になるが、浸透しているのか。

**A** 議会報告会のあり方は、視察を行い調査・研究している。今回は富岡公民館にて土曜日の午後開催した。

少しでも参加していただいで関心を高めていく以外にないと考えている。時間、曜日、期的なこととも考えながら、少しでも多くの人に参加していただけるよう努力していく。

## 市の財政状況

**Q** 岐阜県内42市町村で山県市は借金が多いとの掲載を見た。

平成31年度へ向けての予算も考えていると思うが、しっかりと精査してもらいたい。

**A** 起債許可団体から抜けたとはいえ、大変だと思っっている。執行部も努力しているので、ご理解いただきたい。

## ◆防災について

### 災害時の停電対応

【Q】東深瀬では、台風の影響で3日目の夜7時まで停電した。中電に電話してもつながらない。

一人暮らしの高齢者は冷蔵庫も使えず困っていた。いつ回復するのか市に連絡しても返答がない。

防災無線で状況を放送してもらえれば少しは安心できたと思う。

【A】防災無線の放送は、中電も被害が広範囲にわたり、正確な復旧の目途がたない状況であり、行政として無責任な放送はできないということだった。

今後は、市民の皆様に安心していただけるよう、議会としても適切な情報提供ができるよう働きかけたい。



### 地区単位の防災訓練を

【Q】防災訓練は地元地域が大事だと思う。

地区の人たちを集めて図上訓練を行っている。こうした訓練をしないと全体が見渡せない。また、一人では多くの軒数を見きれないので、地域の民生委員や、推進員が、目を配っていたい。

町内単位で、図上訓練をもっとやってはどうか。

【A】各自治会でまめネット協議会という組織があり、地区ごとに独居老人などの情報管理を自治会長や民生委員が行っている。

いざという時、行政に頼ってもできないこともあるので、そのような情報を生かして自治会単位、地区単位で助け合おうとする気持が大切だと思う。

## ◆その他の意見

### 農業用水と用悪水路の区別を

【Q】西深瀬のインターに係した事で水田の用水路の地目が用悪水路となっており、所有は高富町となっていた。公共下水に流れない、

雨水、洗車水などが用悪水路に排水され、水田に流れ込むと、弊害がでるので、用悪水路と農業用水の区別をしてもらいたい。

【A】農林畜産課に伝えておく。

【行政】登記簿上は、用水路という地目はなく、用悪水路という地目になる。新築する場合は、雨水などの排水先を自治会長、水利組合長の承認を得るようお願いをしている。

### 東海環状自動車道

【Q】東海環状自動車道のストック効果は、経済効果を含め、どう考えているのか。

【A】ストック効果は、インター開通前に表れるものとインター開通後に表れるものがあると思う。

企業誘致を積極的に行い、現在武士ヶ洞に企業を誘致する方向で進んでいる。また、開通後にどう企業を呼び込むかという両面で考えていきたいと思っている。

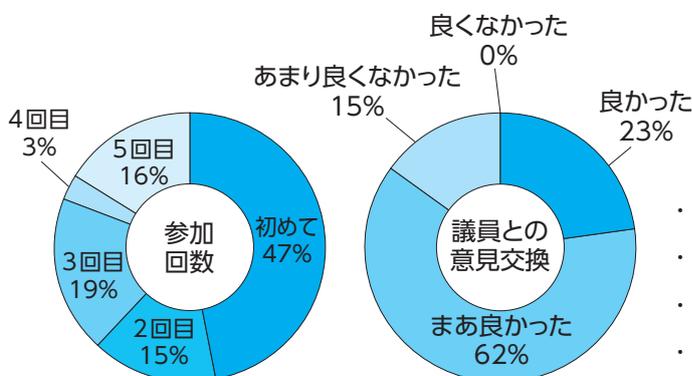
※ストック効果とは、整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ長期にわたって得られる効果。

【行政】は、議会報告並びに意見交換会以後に行政に確認した回答。

### 議会報告並びに意見交換会



## 参加者のご意見とアンケート結果



- ・ 次回も出席したいと思います。
- ・ 市民への周知は、もっと分かり易くして欲しい。
- ・ 委員の返答を、もっと丁寧をお願いしたい。
- ・ 各部門にて、ご活躍をお願いします。

今回初めて参加していただけた人も多くあり、市民の多くの声をいただくことができました。次年度以降も多くの人に参加していただけるよう、報告会の進め方を検討していきます。

(議会運営委員長 武藤孝成)



# バスターミナルを 山県市の新たな交通拠点に

平成31年度末に開通予定の東海環状自動車道(仮称)高富インターチェンジは、将来の交通拠点として市の発展に重要な役割を果たすことが期待されている。

現在、山県市は地方創生拠点の核としてそのインターチェンジ周辺にバスターミナルを整備し、そこを拠点とする地域公共交通の再編をすすめている。

このバスターミナル整備事業の隣接地には、岐阜乗合自動車株式会社(岐阜バス)が高富営業所の移設を予定していることから、市と岐阜バスが連携し整備していく計画となっている。東海環状自動車道高架下スペースの活用についても検討している。

バスターミナルを活用し、周辺のにぎわいや活性化をもたらすという大きな視野を踏まえ、その第一段階として、バスター

ミナルの待合施設にどういった機能を持たせるか検討するため、7月11日に揖斐郡大野町にオープンした道の駅「パレットピアおおの」の視察研修を行った。



▲道の駅パレットピアおおの



## 「パレットピアおおの」

### 整備までの経緯と取り組み

2012年度  
大野町ブランド  
デザイン策定

『だれもが集える  
道の駅』  
プロジェクト

観光客及び地域住民の交流の場を創出し、かつ町南部の防災拠点として活用することにより、活力に満ちた魅力あるまちづくりを行い、町の知名度アップを図る。

道の駅基本構想  
(整備計画)策定

道の駅基本  
コンセプト

町民が『誇り』と『愛着』をもてる大野町の新たな観光地づくり

道の駅テーマ

『彩・食・健・実』  
バラと柿が彩るやすらぎの杜

基本構想策定までに、市民ニーズを把握するための住民・農業者の意識調査、マーケティング調査が行われた。各種団体・関係機関・公募住民で構成された「道の駅プロジェクト推進会議」ではグループワークを行い、各種団体の代表者・町民代表で構成された「道の駅検討委員会」へ意見をあげられた。

道の駅からはじまる  
まちづくり計画策定

道の駅を核にした観光の側面からまちづくりを考える場として、市民協働のまちづくりワークショップを開催し、観光まちづくり戦略を作成された。



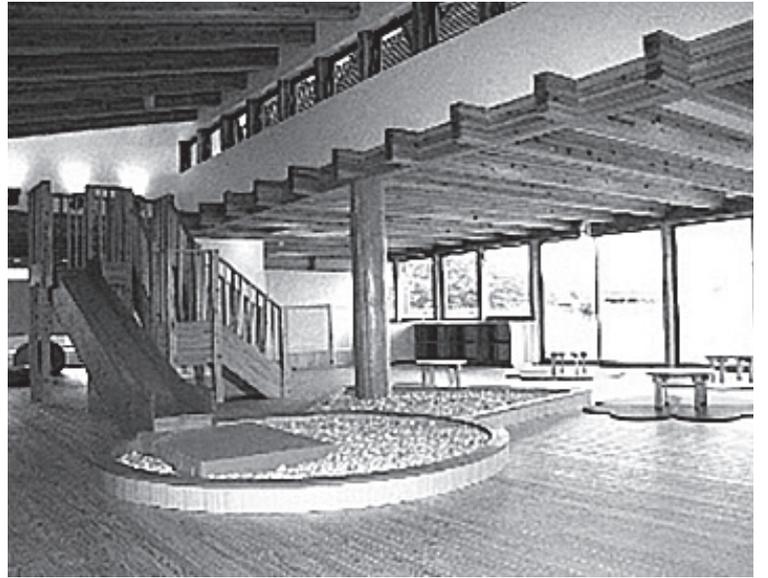
▲物産販売所

## 指定管理者制度を採用

全国公募で、説明会には20社以上の事業者が参加し、プロポーザルには4社が参加。選定された事業者は運営をテナント単位ではなく一体で管理し、厨房をコンパクトにしたスマートな動線が作られているなど、民間のノウハウが活かされていた。

## 子育て支援はうすを併設

町内外の幅広い人達に利用してもらうため、道の駅に県内の木材を使用した「木育」拠点となる施設を併設。



▲子育てはうす ぱすてる

プレイルーム・乳児室・授乳室・図書コーナーが設置されていた。

子育てに関する相談・援助・情報提供や、子育て中の親子の交流、誕生会やおやつ作り教室などが毎月開催されている。

大野町と同様に、IC周辺に整備される本市のバスターミナルも市の顔となる。

市民に愛される場所となり、足を運んでいただけるような賑わいを周辺にもたらし核となるよう、特別委員会としても取り組んでいきたい。  
(文責 寺町 祥江)

## 議会行政視察研修報告

### 鹿児島県日置市・指宿市へ視察

(10月31日～11月2日)

#### 公立保育所の民営化 (日置市)

日置市には3つの公立保育所と私立の保育園、幼稚園がある。

平成19年3月、日置市立保育所在り方検討委員会を設け、行政改革の考え方や今後の出生動向などを踏まえ、日置市立保育所の民営化に関して協議が行われた。

多様化する保育ニーズや地域の子育て支援ニーズに適切に対応し、市全体の保育の水準を向上させていくためにも公立保育所の民営化を実施することが必要であると提言報告書が提出され、3つの保育所を同時に民営化するのではなく、1カ所ずつ実施していく方針が取られた。

#### アプリで子育て支援 (日置市)

忙しい子育て中のお母さんやお父さんが、手軽に利用できる「子育て応援アプリ」。

内容は一人ひとりにあわせた予防接種スケジュールの作成や、親子で集える場所など、子育てを応援する情報が満載であった。



本市でも「子育てげんき」という支援サービスがあるが、日置市のようにITを活用した子育て支援ができるよう、「子育て日本一」を目指し取り組むことが必要であると感じた。

(文責 石神 真)

「西郷どん」  
観光客の受入体制  
【指宿市】

指宿市では「いぶすき西郷どん実行委員会」が市、市観光協会、商工団体、県観光課などのメンバーで組織されていた。

予算は1億950万円程が生まれ、実行委員会以外に集落バス整備に8100万円の県設備資金や、集落市道整備が県振興局の推進事業として行われていた。

残念ながら岐阜県にはない整備事業である。

市の既存施設「時遊館」を使って「いぶすき西郷どん館」が開設されていた。



▲いぶすき西郷どん館

篤姫の時にできたボランティアガイド会の50人ほどでガイド活動を続けているとのことだった。

視察後の感想としては、山県市のポジショニングを決め、本来の山県市の観光資源の整備、歴史探索の会などの人的ソフト面での資源の掘り起こしを通じ、身の丈にあった取り組みが重要だと思った。岐阜市に「ドラマ館」が整備されるので、そこから明智光秀公



▲いぶすき西郷どん館 館内

の墓や水栓バルブ発祥の産業観光、利平栗を含めた山県市への誘客に結びつけた取り組みが重要であると感じた。

健康・協働のまちづくり課による市民の運動意欲の喚起及び運動の習慣化を図ることを目的にした「健康マイレージ制度」の取り組みの報告も受け、今後の健康寿命の延伸の参考にしたいと思う。

(文責 福井 一徳)

## 観光整備特別委員会

### 市長に要望書を提出

(10月18日)

明智光秀公が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」放映に伴う観光整備に関する調査研究を行い、早急に検討・実施されるよう、市長に要望書を提出した。

#### 要望の主な内容

- ・ 史跡等の案内看板や案内図などのハード整備
- ・ 観光ガイドの育成
- ・ 史跡めぐりのスタンプラリーなどのソフト対策
- ・ 学校教育現場での取り組みや光秀検定等の企画による機運の醸成
- ・ 他団体と連携し、関連商品の開発など

市の体制を整え、官民協働による組織づくりを進めることを要望した。



# 議会活動日誌

## 10月

- 3日(水) 議会報編集委員会
- 13日(土) 議会報告並びに意見交換会
- 15日(月) 議員協議会
- 17日(水) 議会報編集委員会  
岐阜地域児童発達支援センター組合  
議会定例会
- 18日(木) バスターミナル整備特別委員会
- 28日(日) 総合防災訓練
- 31日(水) 議会行政視察研修  
(鹿児島県日置市、指宿市)



▲議会行政視察研修

## 11月

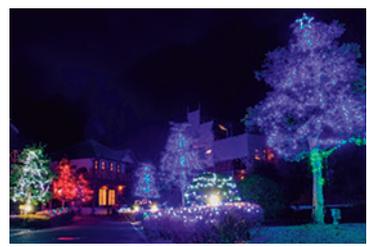


▲やまがた健康・介護フェスタ

- 4日(日) やまがた社会福祉大会
- 5日(月) 中濃十市議会議長会議員研修会
- 6日(火) 観光整備特別委員会
- 7日(水) バスターミナル整備特別委員会
- 11日(日) やまがた健康・介護フェスタ
- 16日(金) 戦没者追悼式
- 18日(日) 青少年育成推進大会・PTA連合会研究大会
- 27日(火) 議会運営委員会
- 28日(水) 全員協議会

## 12月

- 3日(月) 第4回定例会本会議開会
- 5日(水) 議会運営委員会
- 10日(月) 本会議(質疑) 議会報編集委員会
- 12日(水) 総務産業建設委員会
- 13日(木) 厚生文教委員会
- 17日(月) 本会議(一般質問)
- 18日(火) 本会議(一般質問)
- 20日(木) 議会運営委員会  
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
- 28日(金) 年末夜警激励



▲あかりのファンタジーin美山

## テレビ放映のお知らせ



平成31年第1回(3月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

放送日時・チャンネル 3月29日(金)12時~CCN12  
3月31日(日)17時~CCN12(サブチャンネル)

## 編集後記

「平成」の元号が代わる節目の年がスタートし、一つの時代の転換期を迎えようとしています。

本号では、議会報告会並びに意見交換会の内容を掲載しました。

「議会では何を議論しているのか」など全てをお伝えすることは出来ませんが、今後も、市民の皆様との対話の場を大切に、議会への関心を高めていただけるよう努力を重ねてまいります。

議会に対するご意見やご要望がありましたら、お気軽にお知らせください。

(文責 加藤 裕章)

- 編集委員**
- 【委員長】吉田茂広
  - 【副委員長】郷 明夫
  - 【委員】加藤 義信  
加藤 裕章  
寺町 祥江

## 平成31年第1回(3月) 議会定例会予定

2月28日(木)	本会議(提案説明)
3月 8日(金)	本会議(質疑)
3月11日(月)	総務産業建設委員会
3月12日(火)	厚生文教委員会
3月14日(木)	本会議(一般質問)
3月15日(金)	本会議(一般質問)
3月20日(水)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※会議は、原則午前10時より開会します。  
※傍聴の受付は、住所・氏名のご記入です。お気軽にお越しください。  
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)までお問い合わせください。